

朝鮮語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
37H1012	基礎朝鮮語A1	2	1.0	1	春ABC	月3		金 仁和	初修者を対象にしたこの朝鮮語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として人文・応理・エシス対象。日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
37H2012	基礎朝鮮語A1	2	1.0	1	春ABC	月4		金 仁和	初修者を対象にしたこの朝鮮語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1対象。日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
37H6012	基礎朝鮮語A1	2	1.0	1	春ABC	火3		白 仁子	初修者を対象にしたこの朝鮮語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(入門レベル)の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
37J1012	基礎朝鮮語B1	2	1.0	1	春ABC	水2		森 勇俊	初修者を対象にしたこの朝鮮語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として人文・応理・エシス対象。日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
37J2012	基礎朝鮮語B1	2	1.0	1	春ABC	水1		森 勇俊	初修者を対象にしたこの朝鮮語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1対象。日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
37J6012	基礎朝鮮語B1	2	1.0	1	春ABC	金2		白 仁子	初修者を対象にしたこの朝鮮語の授業では、基本文法(入門レベル)の重要項目を確認しながら、社会生活の場面に即した基礎的なコミュニケーション能力の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
37K1012	基礎朝鮮語A1I	2	1.0	1	秋ABC	月3		金 仁和	初修者を対象にしたこの朝鮮語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として人文・応理・エシス対象。日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
37K2012	基礎朝鮮語A1I	2	1.0	1	秋ABC	月4		金 仁和	初修者を対象にしたこの朝鮮語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として比文・日日・社工・体育1対象。日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
37K6012	基礎朝鮮語A1I	2	1.0	1	秋ABC	火3		白 仁子	初修者を対象にしたこの朝鮮語の授業では、4技能(聞く・読む・話す・書く)の総合的な修得に配慮しながら、とくに基本文法(基礎レベル)の修得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。日本語で授業を行う。 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
37L1012	基礎朝鮮語B11		2	1.0	1	秋ABC	水2	森 勇俊	この授業では、すでに朝鮮語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として人文・応理・エシス対象。「基礎朝鮮語B11」は選択・自由科目だが、「基礎朝鮮語B1」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
37L2012	基礎朝鮮語B11		2	1.0	1	秋ABC	水1	森 勇俊	この授業では、すでに朝鮮語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として比文・日・社会・体育1対象。「基礎朝鮮語B11」は選択・自由科目だが、「基礎朝鮮語B1」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
37L6012	基礎朝鮮語B11		2	1.0	1	秋ABC	金2	白 仁子	この授業では、すでに朝鮮語の初歩的な文法やコミュニケーション能力を身につけている学習者を対象に、さらなる実践的なコミュニケーション能力の伸長を図りながら、2年次以降の継続的な学習に十分な語学能力の獲得を目指す。	主として社会・国際・資源・情報対象。「基礎朝鮮語B11」は選択・自由科目だが、「基礎朝鮮語B1」との継続性を持っているので、そのまま続けて履修することを推奨する。主に日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。

朝鮮語(2年次履修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3751612	朝鮮語圏の言語と文化A		2	1.0	2	春ABC	火5	金 仁和	「基礎朝鮮語A1/A11」「基礎朝鮮語B1」で修得した言語知識を踏まえて、4技能(読む・聞く・話す・書く)の総合的な伸長に配慮しながら、朝鮮語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	全学群対象。「基礎朝鮮語」A及びBの履修者に限る。主に日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
3754612	朝鮮語圏の言語と文化B		2	1.0	2	秋ABC	火5	金 仁和	「基礎朝鮮語A1/A11」「基礎朝鮮語B1」で修得した言語知識を踏まえて、より実践的なコミュニケーション能力の向上に配慮しながら、朝鮮語圏の文化と社会の理解をさらに深めることを目指します。	選択・自由科目。全学群対象。「朝鮮語圏の言語と文化A」の履修者に限る。日本語で授業を行う。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。

朝鮮語(選択・自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3760012	応用朝鮮語講読A		2	1.0	2 - 4				韓国語基礎で習った基本文型・会話を発展させる。様々な文体と内容の文章の講読と作文ドリルを行う。	全学群対象。原則として、「朝鮮語基礎」A及びBの履修者に限る。主に韓国語で授業を行う。偶数年開講2021年度開講せず。 G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3761012	応用朝鮮語会話A	2	1.0	2 - 4	春ABC	火4		金 仁和	映像・音声資料を通して、聴解力と会話能力を高める。	全学群対象。原則として、「朝鮮語基礎」A及びBの履修者に限る。主に韓国語で授業を行う。奇数年開講。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。
3765012	応用朝鮮語講読B	2	1.0	2 - 4					韓国語基礎で習った基本文型・会話を発展させる。様々な文体と内容の文章の講読と作文ドリルを行う。	全学群対象。原則として、「朝鮮語基礎」A及びBの履修者に限る。主に韓国語で授業を行う。偶数年開講2021年度開講せず。 G科目
3766012	応用朝鮮語会話B	2	1.0	2 - 4	秋ABC	火4		金 仁和	映像・音声資料を通して、聴解力と会話能力を高める。	全学群対象。原則として、「朝鮮語基礎」A及びBの履修者に限る。主に韓国語で授業を行う。奇数年開講。 G科目 その他の実施形態 原則としてオンライン(オンデマンド)とする。但し、状況に応じて、同時双方向型のオンライン授業を併用する。